

さいころを  $n$  回投げたとき、出た目の最小公倍数を  $m$  とする。ただし、 $n \geqq 2$  とする。

- (1)  $m = 2$  となる確率を求めよ。
- (2)  $m = 4$  となる確率を求めよ。
- (3)  $m = 6$  となる確率を求めよ。
- (4)  $m$  がさいころの出た目の 1 つと等しくなる確率を求めよ。

(18 同志社大)